

番号	措置名	交付金事業の名称		
3	公共施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	伊佐市スポーツ文化施設維持運営備品購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊佐市		
交付金事業実施場所		伊佐市大口鳥巢		
交付金事業の概要		<p>伊佐市では, 第1次総合振興計画に基づき, 市民一人ひとりがライフスタイルに応じて主体的に行うスポーツ活動の推進, 生涯スポーツ・競技スポーツの振興に取り組んでいます。市のスポーツ文化施設の中心となっている総合運動公園のテント及び乗用型草刈機については, 老朽化によりイベント等での利用, 施設の維持管理に支障をきたしているため, これらの更新整備に交付金を充当します。</p> <p>・ワンタッチテント10張, ドーム型テント2張, 乗用型草刈機1台 整備</p>		
総事業費		2,178,360	交付金充当額	2,178,360
			うち文部科学省分	
			うち経済産業省分	2,178,360
交付金事業の成果目標		<p>伊佐市においては, グラウンドゴルフやパークゴルフなど誰でも手軽に楽しめるスポーツについて活発に取り組みされており, 近隣市町では開催されることが少なくなった市民体育祭を継続して開催しています。また川内川を利用したカヌー競技については, 九州規模の合同合宿等が盛んに行われており, 平成31年の全国高校総体, 平成32年の鹿児島国体のカヌースプリント競技場として決定しています。</p> <p>今回の事業実施により, テントについては, 簡易に設置できる利点を生かし, 年齢層に関係なく多様なイベントに市民が活用することができ, また乗用型草刈機については, 市民がいつでも使いやすい良好な状態になるようスポーツ文化施設の維持管理を行うことで, 市内スポーツ施設の年間延べ利用者数の増加を図り, 地域の活性化, 地域住民の福祉の向上を図ることを目標とします。</p>		
交付金事業の成果指標		<p>市内スポーツ施設の年間延べ利用者数 平成26年度:104,072人→平成32年度:128,000人 ※第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画より</p>		
交付金事業の成果及び評価		<p>本交付金の活用により, スポーツ文化施設の備品を整備したことで, 様々なイベントでの活用や, 良好な施設環境を維持することができました。平成28年度の市内スポーツ施設の年間延べ利用者数は, 117,889人であり, 今後も引き続き施設の充実を図ることで, 施設利用者の増加につなげ, 地域の活性化, 地域住民の福祉の向上を図ることを継続する予定です。</p>		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法	契約の相手方	契約金額
物品購入(ワンタッチテント・ドーム型テント)		指名競争入札	合資会社 宮原スポーツ	1,313,280
物品購入(乗用型草刈機)		指名競争入札	ヤンマーアグリジャパン(株)大口支店	865,080
		計		2,178,360
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無		無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度	H33

番号	措置名	交付金事業の名称		
	4 公共施設に係る整備, 維持補修又は維持運営等措置	伊佐市避難所用発電機購入事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊佐市		
交付金事業実施場所		伊佐市内一円		
交付金事業の概要	<p>伊佐市では, 第1次総合振興計画に基づき, 市民自身の防災意識の高揚や, 自助・共助・公助による防災体制の充実に取り組んでいます。</p> <p>現在, 災害等に対しては伊佐市役所大口庁舎交通防災係に対策本部を置き, 地域のコミュニティ施設等を利用して伊佐市内に公設避難所(22ヶ所, 収容人数1,940人)及び福祉避難所(2ヶ所, 収容人数320人)を計24ヶ所を指定していますが, 発電機が設置されていないことから, 避難所の機能強化(停電対策等)を図るため, 伊佐市内24ヶ所の公設避難所及び市交通消防防災係にカセットボンベ式発電機を配置するのに交付金を充当します。</p> <p>・カセットボンベ式発電機(付属品: ボディーカバー) 25台整備</p>			
総事業費	1,884,600	交付金充当額		1,884,600
		うち文部科学省分		
		うち経済産業省分		1,884,600
交付金事業の成果目標	<p>カセットボンベ式発電機を各避難所に設置することで, 照明や情報の確保(テレビ・ラジオ)ができるほか, 情報通信手段(携帯電話等)の電源確保により, 避難者の不安を取り除くことができます。また, カセットボンベ式発電機は, 持ち運びも容易で, 簡易に燃料を補填できる利便性があります。避難所の機能強化を行い, 避難所の受入体制を充実させることにより, 市民が安心して避難できるとともに, 市民の防災に対する意識の高揚, 地域住民の福祉の向上を図ることを目標とします。</p>			
交付金事業の成果指標	<p>普段から災害に対する備えをしている市民の割合  平成26年度: 42.2% → 平成32年度: 70%  ※第1次伊佐市総合振興計画後期基本計画より</p>			
交付金事業の成果及び評価	<p>本交付金の活用により, 発電機を整備し, 避難所の機能強化を行うことができ, 市民の防災に対する意識の高揚・地域住民の福祉の向上が図られたと考えています。今後も施設の機能強化や防災に関する啓発活動を継続していくことで, 市民の防災に対する意識の高揚を図ることを継続して行う予定です。</p>			
交付金事業の契約の概要				
	契約の目的	契約の方法	契約の相手方	契約金額
	物品購入	指名競争入札	太田機工株式会社大口営業所	1,884,600
		計		1,884,600
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無	無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度		H33

番号	措置名	交付金事業の名称		
6	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	伊佐市消防団装備品整備事業		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		伊佐市		
交付金事業実施場所		伊佐市内		
交付金事業の概要		伊佐市は、鹿児島県の最北に位置し、市全体面積の約80%を山林等が占める山間地域です。近年では、局地的な豪雨や台風による倒木が発生し、停電の原因ともなっています。平成26年2月、消防庁告示が改正され、大規模災害に対応するため、消防団分団へのチェーンソーなどの救助活動用資機材の必要数量の配備が求められており、消防団装備の充実を図るため交付金を充当します。 チェーンソー及び付属品 17台		
総事業費		884,952	交付金充当額 うち文部科学省分 うち経済産業省分	680,040 0 680,040
交付金事業の成果目標		伊佐市では、第1次伊佐市総合振興計画 後期基本計画に基づき、防災体制の充実に取り組んでいます。地域の実情に詳しい消防団に救助活動用資機材としてチェーンソーを配備することにより、局地的な豪雨や台風による倒木等被害が発生した場合に、迅速な倒木除去による応急対応を実施することが可能となり、道路の通行の支障解除までの所要時間の短縮、二次災害の防止を図ることができます。また、消防団分団に必要な救助活動用資機材を配備することで、災害危険箇所の事前応急対応も可能となることや市民の防災意識の向上が期待され、地域住民の福祉の向上につなげることを目標とします。		
交付金事業の成果指標		市民意識調査における「普段から災害に対する備えをしている市民の割合」 平成26年度 42.2% → 平成32年度 70%		
交付金事業の成果及び評価		本交付金の活用により、伊佐市内に配置している消防団17分団の装備品の充実が図ることができました。また購入後、消防団員に対して講習会を開催し訓練等を行い、緊急時の対応に備えることで、市民の防災意識の向上にもつながり、地域住民の福祉の向上が図られていると考えています。		
交付金事業の契約の概要				
契約の目的		契約の方法等	契約の相手方	契約金額
物品購入(チェーンソー)		指名競争入札	上林商店	884,952
		計		884,952
成果及び評価に係る第三者機関等の活用の有無			無	交付金事業の成果の再評価を行う場合の予定年度 H32